

分析ツールの使い方 (家計所得編)

1 A町の「一人当たり家計所得」のうち、県平均(市町村平均)を上回っているものは何か?

- (1) 分析ツール(家計)ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数(実数)」シートの「調べたい市町村名:A」でA町を選択します。
- (3) 「特化係数(実数)」シートの「比べたい市町村名:B」で市町村平均を選択します。
- (4) H18(2006)年度～H29(2017)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、その年度において県平均(市町村平均)を上回っている所得といえます。

2 A町の所得構造の変化が知りたい場合(昔とどう違うの?)

- (1) 分析ツール(家計)ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数(構成比)」シートの「調べたい年度:A」でH29(2017)を選択します。
- (3) 「特化係数(構成比)」シートの「比べたい年度:B」でH18(2006)を選択します。
- (4) H18(2006)年度を1.0とするH29(2017)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、H18(2006)年度よりも構成比が大きくなった所得といえます。

3 A町の所得水準の変化が知りたい場合(昔とどう違うの?)

- (1) 分析ツール(家計)ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数(実数)」シートの「調べたい年度:A」でH29(2017)を選択します。
- (3) 「特化係数(実数)」シートの「比べたい年度:B」でH18(2006)を選択します。
- (4) H18(2006)年度を1.0とするH29(2017)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、H18(2006)年度よりも所得水準が高くなった所得といえます。

4 A町とB町の「一人当たり家計所得」水準を比べたい場合(どちらが、何が高いの?)

- (1) 分析ツール(家計)ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数(実数)」シートの「調べたい市町村:A」でA町を選択します。
- (3) 「特化係数(実数)」シートの「比べたい市町村:B」でB町を選択します。
- (4) H18(2006)年度～H29(2017)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、その年度においてA町がB町よりも所得水準が高いといえます。

5 A町とB町の所得構造を比べたい場合(どう違うの?)

- (1) 分析ツール(家計)ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数(構成比)」シートの「調べたい市町村:A」でA町を選択します。
- (3) 「特化係数(構成比)」シートの「比べたい市町村:B」でB町を選択します。
- (4) H18(2006)年度～H29(2017)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、その年度においてA町がB町よりも所得構成比が大きいといえます。